

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587026902	科目番号 / Course code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Course title	b16医療現場の安全と安心 / Safety and Relief in the Health Care		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 浩二 / Yoshida Koji, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 吉田 レイミ ント / Yoshida Lay Myint		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 浩二 / Yoshida Koji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 浩二 / Yoshida Koji, 田崎 修 / Tasaki Osamu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 吉田 レイミ ント / Yoshida Lay Myint		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	koujiy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7916		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メール、電話にてアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	急速なグローバル化や災害への対策が急務とされる今日の状況において、医療現場で人々の健康に 関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、総合的に理解する。		
授業到達目標/Course goals	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら 努力をして維持することが重要であることを認識できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度、レポート、プレゼンテーション、試験 (担当者で異なる。授業の初めに連絡予定) で 評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	特になし		
キーワード/Keywords	放射線リスク、災害医療、天然毒、熱帯感染症、気候変動		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。必要に応じて参考書を紹介する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	医療現場で人々の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要であることを認識してほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	吉田 浩二/病院での勤務経験、原子力災害被災地での支援経験、高齢者支援事業(高齢者サロン等) への参画/実務経験に基づき、一般的な加齢変化とそのアセスメントについて本授業科目に必要な 基本的知識を講義する。/ 田崎 修/医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、医療現場で人々の健康に関する 安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持することが重要 であることを認識できることを目的として授業を実施する。/ 山下 和範/医師としての実務経験を有している。災害支援経験/実務経験に基づき、医療現場で人々 の健康に関する安全と安心を維持するためにどのような対応が求められるか、自ら努力をして維持 することが重要であることを認識できることを目的として授業を実施する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/14 (3)	放射線リスクと危機管理
第2回 4/14 (4)	身近に迫る放射線リスク
第3回 4/21 (3)	救急医療の現状と課題
第4回 4/21 (4)	災害医療の現状と課題
第5回 4/28 (3)	救急医療における臓器提供と終末期医療の現状と課題
第6回 4/28 (4)	安心な災害医療・救急医療に向けて我々が取り組むべきこと
第7回 5/12 (3)	医薬品開発の歴史: くすりは毒から作られた
第8回 5/12 (4)	身近な毒と、毒を克服した生物たち
第9回 5/19 (3)	くすりと食べ物の境界はどこか(病気の予防と治療)
第10回 5/19 (4)	食とくすりの安全について考える
第11回 5/26 (3)	開発途上国の医療現場と感染症
第12回 5/26 (4)	デング熱ってなに?
第13回 6/2 (3)	蚊と感染症
第14回 6/9 (3)	放射線リスクコミュニケーション
第15回 6/9 (4)	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587027301	科目番号 / Course code	05870273
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12161_005		
授業科目名 / Course title	b16社会科学からみた安全・安心COC / Safety and Security Viewed from the Social Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi, 吉田 浩二 / Yoshida Koji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakanishiy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部本館604号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時受け付けるが、事前にメールでアポ (nakanishiy@nagasaki u.ac.jp) を取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	産業界 (特に航空業界) の実践例の理解を通じて、安全やリスクに関する基本的な考え方を を習得する。もって、リスクと折り合いを付けて生きて行けるようになることをめざす。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活において、自ら学び、考え、適切にリスクを見積もることができる。</li> <li>・見積もったリスクに基づき安全な行動を取ることができる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	リスクの見積もり及びこれに基づく行動の獲得度をもって評価する。ただし、定期試験 (50%)、毎 授業における小レポート (50%) により判定する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	配布資料及び講義内容の予習 (2h) 及び復習 (2h)		
キーワード/Keywords	安全, リスク, ヒューマンファクター, コミュニケーション, 組織		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布する		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下 さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日々の生活の中で理論を実践してほしい。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	中西善信 / ANA等での勤務経験 / 航空分野での勤務経験に基づき、組織運営の理論と実践の両面について解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	ブレインストーミング
第3回	安全とリスク
第4回	リスクマネジメント
第5回	ヒューマンエラー
第6回	ヒューマンエラー (続)
第7回	コミュニケーションと安全
第8回	ヒューマン・マシン・インターフェース
第9回	集団作業
第10回	組織安全と安全文化
第11回	レジリエンスと高信頼性組織
第12回	事故調査と犯罪捜査
第13回	安全のためのヒント
第14回	安全に行動するために
第15回	まとめ
第16回	テスト

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587027701	科目番号 / Course code	05870277
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12171_005		
授業科目名 / Course title	b16工学から見た安全安心(エネルギーと資源) / Energy and Natural Resources from the Viewpoint of the Engineering		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko, 吉田 浩二 / Yoshida Koji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	桃木 悟 / Momoki Satoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	桃木 悟 / Momoki Satoru, 山口 朝彦 / Yamaguchi Tomohiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	momoki nagasaki-u.ac.jp, "tomo nagasaki-u.ac.jp" (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階 基礎エネルギー工学G研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2528(桃木)/2531(山口)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜: 5校時(事前にe-mailで、予約するのが望ましい。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本のエネルギーのあり方を考えるために、日本のエネルギー事情、資源(食料、化石燃料、レアメタル、鉄など)の今後、国民生活とエネルギー需給、IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかたを、安全の問題を踏まえてテーマとする。		
授業到達目標/Course goals	日本と世界のエネルギーと資源の基本問題が説明できること。自分なりの問題解決策の第1歩を提案できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の講義出席を原則とし、定期試験(70%)、3回のレポート(30%)で総合評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	1,2回目: 事前学習内容: 現在のエネルギー問題について知っている事, 知りたい事を整理する(4h)。 1,2回目: 事後学習内容 & 3,4回目: 事前学習内容: 授業で聞いた意見を考慮して改めて問題と想った事, 授業の前までに感じていた事との違いについて整理する(8h) 3,4回目: 事後: "物理"の観点でのエネルギーについて復習, エネルギーの定義を中心に(演習レポートの作成) (4h) 5,6回目: 事前: 身近なエネルギーの"大きさ"や量について調べて整理する(4h) 5,6回目: 事後: エネルギーの量を意識した上で, エネルギー問題について思う事をまとめてレポートとする(5h) 7,8回目: 事前: 国内, 国外のエネルギー消費の現状について調べて整理(h) 7,8回目: 国内, 国外のエネルギー消費の現状についてレポートを作成(4h) 9~15回: 予習: LACSに掲載するIPCCに関する事前学習資料(2h) 復習: 授業の復習(1h)、LACSに掲載する授業の理解を深めるための事後学習資料(1h)		
キーワード / Keywords	環境問題, 化石燃料, 原子力, エネルギーの質, 地球温暖化, 食料増産		
教科書・教材・参考書 / Materials	担当教員が, 適時資料を配布するか, または, 受講者各自にdownloadしてもらおうURLを知らせる。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) / Remarks (URL)		
学生へのメッセージ / Message for students	日本は、天然資源のほとんどを外国に依存しているにも関わらず、エネルギーの問題は、1973年および1979年のオイルショックの後にはあまり関心を集めてこなかった。しかし、地球温暖化の問題や東日本大震災後を経て、国民の全体の課題として広く関心を集めている。受講者は、常に新聞やテレビなどのメディアが発信するエネルギー関連の情報に常に注意を払い、疑問があったらすぐに自分で調べる態度を続けて欲しい。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	概説, 準備, アンケート	A
第2回	エネルギーとは: そもそもエネルギーとは何なのか, どのくらい重要なのかについて, それを " 定量的 " に議論する最低限の素養を身につけるための講義を行う。	F
第3回	エネルギーの定量的な取り扱いに関する講義の続き。	F
第4回	エネルギーに関する歴史: 需要と供給について定量的に考え方を交えながら, エネルギー利用技術と社会の状況に関する歴史について講義する。	F
第5回	発電について 1: 発電の方法および効率に関する簡単な講義と, 国内技術の現状について説明する。電気の供給とそのために消費される一次エネルギーや, それに起因した地球環境問題について議論する。	F
第6回	発電について 2: 電気の供給とそのために消費される一次エネルギーや, それに起因した地球環境問題について議論する。	A
第7回	国内および世界のエネルギー事情 (1): 資源エネルギー庁による最新版のエネルギー白書を参考にここ数年の日本国内のエネルギー事情に関し講義する。また、長崎大学での海洋エネルギー利用技術研究の現状を簡単に紹介する。	F
第8回	国内および世界のエネルギー事情 (2): 日本機械学会動力エネルギー技術部門や日本伝熱学会等、国内外のエネルギーに関連した分野の研究者や技術者の関連動向を踏まえて、最新の状況について講義する。	F
第9回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group I: 気候変動の概況と予測、およびその科学的根拠を講義する。	F
第10回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group II: 気候変動の影響を講義する。	F
第11回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group III: 気候変動の緩和策を議論する。	A B
第12回	IPCC第5次評価報告の概要 統合報告書: Working Group I-IIIの報告の総括	A B
第13回	COP3における京都議定書の採択と、それ以降のCOPについて説明する	F
第14回	IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかた: IPCC評価報告書の社会への影響とさまざまな意見を議論する。	A B
第15回	持続的社会に向けての取り組み: 省エネルギー対策、再生可能エネルギーの開発、原子力の現状などを議論する。	A B
第16回	定期試験	E